

昭和二十五年七月二十二日提出
質問 第三七号

片町線電化に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十五年七月二十二日

提出者 横田 甚太郎

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

片町線電化に関する質問主意書

昭和二十五年度予算の中に、片町線電化費として三千四百余万円が計上されているが、未だC・T・Sの承認がないため、工事を進めることができずにいる状態である。

しかるに今回の参議院選挙に当り、大屋前運輸大臣は、当時運輸大臣として在任中であつたが、沿線町村長に対し、又選挙演説中に、片町線電化については、C・T・Sの承認を受けたから、既に工事を開始していると言明した。

ところが大阪鉄道局は、四條畷、星田、津田の三駅のプラット・ホームの打上工事を五月下旬から取りかかり既に竣工しているが、依然としてC・T・Sの承認が出ないという理由で、予算が大阪鉄道局に廻らず、後の工事が実施できずにいる。

右の事実に基き、次の事項につき質問をする。

一 大屋前運輸大臣の沿線各地における言明は真実であるのか。真実とすれば、それは政府の責任におけ

る言明であるか。あるいは単なる選挙のためにする虚構の宣伝にすぎなかつたのか。

二 現在片町線電化についてのC・T・Sと運輸省の具体的な交渉経過を明示されたい。

三 政府は、この問題について現在どのような具体策を持っているか。

右質問する。